

No.116

理想の5本指ソックス

笹原芳樹
カモシカ・スポーツ



¥100ショップの5本指ソックス
安いながらもなりに弱い。何日か使うと足裏が薄くなります



左は昔にサンプルとしてもらったシルク製。中厚でいいのだが色がコレでは、あまり使ってません。右は現在売られているハリソンのシルク5本指ライナーソックス 定価¥1,050 サイズ3種



ハリソン・ポリプロピレン5本指ライナーソックス
沢用タビでは具合良く使っている。行きのアプローチシューズでも使ってます。個人的には普通の山行でインナーで使うとべとべとした感じで好きではない
定価¥1,260 サイズ3種



スマートウール・トーソックスミニ
くるぶし丈でローカットシューズ向き。左が新品、右は1週間に1~2度使って約3ヶ月経過するが、意外とへたっていない。もう少々厚手にして丈も長いといいんだけどなあ~
メリノウール 90% ナイロン 8% ポリウレタン 2% カラー4色 サイズ3種 ¥1,890

手袋を足に？

二十歳前の若い頃から私は5本指の靴下を普段ばきとして愛用しています。しかし当時5本指ソックスは市民権を得ておらず、靴を脱ぐ機会、例えば飲み会の座敷で人に見られると「おまえ何はいてんだ！それ軍足か！だせえ〜！」なんて差別的発言をされたこともありまして、その10年後程でも小さかった愛娘からは「お父さん、手袋をなんで足にするの？」なんて言われたりと、けっこう散々でした。

大昔はこの手のものはコットン製のみでしたが、山用にはウールとか化繊のものを使いたいですよね。アプローチシューズにコットン5本指でマメを作ったこともありまして。たっけ。

画期的だったのは、当時の星野企画(今はホシノ)から発売されたシルク製の5本指は山向きのインナーソックスとして、岩崎元郎氏が出演したNHKの「中高年の登山学」でも紹介されたこともあり大ウケ、すごい売れ行きでした。当然、私も何足も買いました。メーカーでは、インナー用として開発したものなので一枚では使用しないでの説明でした。まあ弱いのはわかっていても、単体で使って実には気持ちがいいんです。でもそんな悠長な話ではなく、たいへんなことが起きたんです。

じつにヤケザっぽい男に「この靴下、ろくにはいてないのに穴があいた。こんなもん、もういらなからオレに対してどういう責任を取ってくれんだ」と静かであるもドシツと重いクレームというか、いい加かりがあったのです。その場はお引き取りいただき、翌日に警察署に相談に行きました。受付で「ハイ、マルボーに行つて」との指示、係の方からは「直接に金品の請求はしないんだよねえ。それは罪になっちゃうからね。だから遠回しに言うんだよ」とのことでした。マルボーの方の言う通りに、キゼンとしてインナーソックスであることをハッキリ申し上げたところ二度と来店しませんが、助かりました。この因縁の付いたソックスは、もうあまり売らなくなりました。